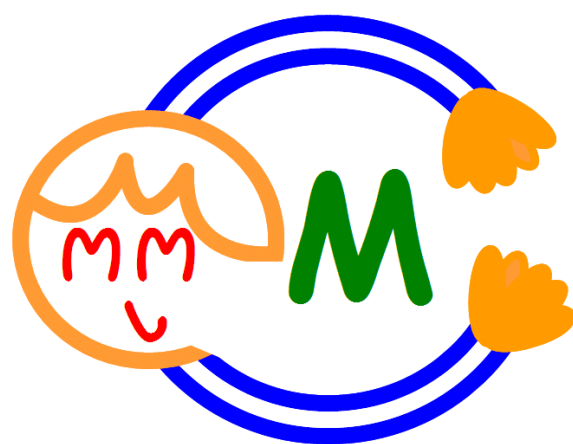


令和8年度  
宮崎市介護支援専門員連絡協議会  
総会



令和8年4月23日(木) 14:00~15:30

会 次 第

日時: 令和8年4月23日(木)  
場所: 宮崎市民プラザギャラリー1

1 開会

2 会長あいさつ

3 来賓あいさつ

4 議長選出

5 議事

議案第1号 令和7年度事業報告(案)について

議案第2号 令和7年度収支決算報告(案)について

報告第1号 令和8年度事業計画

報告第2号 令和8年度収支予算

報告第3号 事務局体制について

6 議長退任

7 その他

8 閉会

次回令和8年6月19日(金)宮崎市民プラザギャラリーにて

【議案第1号】

令和7年度 事業報告（案）

1. 定例会・総会・研修会

| 開催日時及び場所   | 内 容   | 参加人数  |
|--|---|---|
| <p>令和7年4月25日（木）<br/>14：00～15：30</p> <p>宮崎市民プラザ<br/>4階ギャラリー</p>   | <p>【総会】 会員総数 514名</p> <p>■総会議事<br/>           議案第1号 令和6年度事業報告<br/>           議案第2号 令和6年度収支決算報告<br/>           議案第3号 令和7年度役員改選<br/>           報告第1号 令和7年度事業計画<br/>           報告第2号 令和7年度収支予算<br/>           報告第3号 事務局体制について</p>             | <p>53名<br/>委任状<br/>235名<br/>合計<br/>288名</p> |
| <p>令和7年6月19日（木）<br/>14：00～16：30</p> <p>宮崎市民文化ホール<br/>イベントホール</p> | <p>【6月定例会】</p> <p>■研修<br/>           「認知症を狙った詐欺について」<br/>           講師：大山法律事務所 大山 和伸氏<br/>           宮崎県警生活安全部 川並 亜衣美氏<br/>           宮崎県消費生活センター 堂園 敬子氏</p> <p>■連絡事項<br/>           ・宮崎市からの連絡事項<br/>           ・宮崎県介護支援専門員協会からのお知らせ</p>  | <p>82名</p>                                  |

|  |  |            |
|--|--|------------|
| <p>令和7年7月14日（月）<br/>14：00～16：00</p> <p>宮崎市民文化ホール<br/>会議室1～3</p>  | <p><b>【施設ケアマネ研修会】</b></p> <p>■研修<br/>「刑余者支援の司法と福祉の架け橋<br/>～私たちにできることはなにか～」<br/>講師：宮崎県地域生活定着支援センター<br/>日高 尚秀氏他</p>  | <p>20名</p> |
| <p>令和7年8月22日（金）<br/>14：00～16：30</p> <p>宮崎市民文化ホール<br/>イベントホール</p> | <p><b>【8月定例会】</b></p> <p>■研修<br/>「地域づくりと利用者の望む在宅生活に<br/>向けたケアマネジメント」<br/>講師：宮崎大学医学部 桐ヶ谷 大淳氏</p>                  | <p>73名</p> |
| <p>令和7年9月26日（金）<br/>19：00～21：00</p>                              | <p><b>【相談サポート交流会】</b></p> <p>■交流会<br/>「ケアマネジャー交流会」</p>   | <p>17名</p> |
| <p>令和7年9月28日（日）</p> <p>宮崎市科学技術館<br/>多目的ホール</p>                   | <p><b>【いのちのヒーロー体験フェスタ】</b></p> <p>■ブース設置<br/>医療保健福祉について、子供たちが将来就きたい仕事の<br/>一つとして広く知ってもらう機会として開催された。</p>          | <p>24名</p> |

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>令和7年10月3日(金)<br/>14:00～16:40</p> <p>宮崎市民文化ホール<br/>イベントホール</p> | <p><b>【10月定例会】</b></p> <p>■研修<br/>「障害福祉とのマリアージュⅦ<br/>～ヤングケアラーを救え、<br/>介護と障がいを抱える家族にできること～」</p> <p>講師：宮崎市子ども家庭支援課 齋藤 京子氏<br/>宮崎市教育委員会 学校教育課 川越 葉子氏<br/>兒玉 志乃氏<br/>宮崎県子ども・若者総合相談センターわかば<br/>有嶋 誠氏</p> <p>※宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会（MSR）との<br/>共同開催</p>  | <p>131名<br/>：宮崎市<br/>80名<br/>MSR<br/>51名</p> |
| <p>令和7年11月12日(水)<br/>13:30～15:30</p> <p>宮崎市民文化ホール<br/>会議室1～3</p> | <p><b>【相談サポート高齢者虐待防止研修】</b></p> <p>■研修<br/>「高齢者虐待について介護支援専門員の立場で考える」</p> <p>講師：今別府 大作氏（社会福祉法人芳生会）</p>  | <p>49名</p>                                   |
| <p>令和7年11月20日(木)<br/>13:30～16:00</p> <p>宮崎市清武町文化会館<br/>研修室</p>   | <p><b>【施設ケアマネ研修会】</b></p> <p>■研修<br/>「生産性向上の取組、委員会の進め方などについて」</p> <p>講師：増田 登賜隆氏（ハーモニーライフサポート）</p>  | <p>20名</p>                                   |
| <p>令和7年12月25日(木)<br/>14:00～16:00</p> <p>宮崎市民プラザ<br/>4階ギャラリー</p>  | <p><b>【12月定例会】</b></p> <p>■研修<br/>「ケアマネジメントの効率化を考えよう」</p> <p>講師：Jacky Web Works 代表 持原 孝介氏</p>    | <p>69名</p>                                   |

令和8年2月20日(金)

13:50~16:30

宮崎市民プラザ  
4階ギャラリー

【2月定例会】

■研修

「法令順守！法令を味方につけてシャドーワークを軽減  
～法令と倫理の両側面から、整理してみよう～」

講師：一般社団法人あたご研究所 後藤 佳苗氏

102名

:宮崎市  
81名  
東諸県  
21名



定例会は4月から2か月に1回の割合で開催した。今年度はすべての定例会を参集して開催した。  
定例会以外に、7月、11月には施設ケアマネジャーを対象とした研修会、11月に相談・サポート委員会主催研修会を開催した。また、10月は宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会、2月には東諸県支部との合同研修会として開催した。

## 2. 役員会

定例の会議を2ヶ月に1回開催し、主に定例会の打合せや委員会活動について協議を行った。合計6回の会議を開催した。

また、10月定例会開催に向けて、宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会との会議、宮崎・東諸県支部合同研修会に向けて東諸県支部との会議を実施した。

## 3. 各種委員会への出席

- 宮崎市地域包括支援センター運営協議会：投山
- 宮崎市高齢者福祉計画等推進協議会：富岡
- 宮崎東諸県在宅医療介護連携推進協議会：中島
- 宮崎市難病対策地域協議会：富岡
- 宮崎市認知症地域支援ネットワーク推進委員会：今別府
- 宮崎東諸県在宅医療介護連携推進協議会・在宅医療介護連携課題抽出ワーキング部会：村山

## 4. 他団体への講師派遣について

- 宮崎県社会保険労務士会 成年後見部会への講師派遣：富山・坂本・富岡
- 宮崎市郡医師会 第3回歯科衛生士口腔ケア入門センターへの講師派遣：投山

## 5. 委員会

より効果的な会員の資質向上や業務推進の支援を目的とした4つの常任委員会を設置して、各事業を実施した。

各委員会の活動報告は次のとおりとする。

# 広報・渉外委員会 令和7年度事業報告

## 1. 委員構成

委員長：岩切 周也  
委員：池松 正司 宮田 美香  
担当理事：村山 圭太

## 2. 活動目標

- 定例会、行政や他職能団体等から届いた情報などのホームページ掲載による案内
- 宮崎市の介護支援専門員が抱える悩みや課題などに関する宮崎市福祉部（地域包括推進課等）との意見交換会の実施（年に数回程度）
- 新規会員の増加及び既存会員の退会防止のための取り組み

## 3. 活動内容

### <委員会の開催>

第1回 令和7年6月3日 オンライン開催し、以下について協議した

- ・ 今年度の事業計画について
- ・ 宮崎市福祉部（地域包括推進課等）との意見交換について
- ・ 新規会員の入会と既存会員の退会防止について
- ・ 広報誌の作成について
- ・ その他（処遇改善に関する署名活動について）

第2回 令和7年11月27日 オンラインで開催し、以下について協議した

- ・ 広報誌の作成について

### <渉外活動>

宮崎市地域包括ケア推進課と年度内に2回の意見交換会を実施した。意見交換では、研修費用補助制度の今後の方向性、要支援ケアプランの有効期間、次期制度改正に関する最新情報の共有に加え、災害時の対応や研修に関する課題など、幅広いテーマについて協議を行った。これらの意見交換は、行政と協会の双方が情報を共有し合い、より良い連携体制を築くことを目的としている。

### <新規会員の増加・既存会員の退会防止の取り組み>

新規会員の増加・既存会員の退会防止の取り組みについては、今年度は目立った取り組みには至らなかった。ただし、行政との意見交換や情報発信の強化など、会員が協会の活動価値を実感できる環境づくりに取り組み、基盤整備を進めた

### <情報発信>

- ・ 夏・冬に発行している広報誌「みやざき市ケアマネ協だより」を予定通り作成・配布した
- ・ ホームページでは、研修案内や宮崎市の介護保険関連情報を中心に、分かりやすくタイムリーな情報発信に努めた

#### 4. 総括

本年度は、委員会の開催やメールでのやり取りを通して、委員同士で連携しながら活動を進めることができた。特に、地域包括ケア推進課との意見交換を行い、行政へ直接意見を伝える場を持てたことは大きな成果だったと思う。また、継続的に話し合うことで、顔の見える関係が少しずつできてきたことも良い前進となった。

一方で、ホームページを使った情報発信については、思っていたほど充実させることができず、今後の課題として残った。新規会員への案内や退会防止の取り組みは大きくは進められなかったものの、協会としての姿勢は示せたと感じている。

次年度は、行政との意見交換を続けながら、会員の声をよりしっかり拾い上げ、協会としての発信力や存在感を高めていきたい。特に、ホームページ更新の体制づくりや会員情報の整理、活動への参加を促す工夫など、基盤づくりに力を入れて取り組んでいく予定である。

# 施設支援研修委員会 令和7年度事業報告

## 1. 委員構成

委員長：津貫 大悟

委員：富高 美由紀 串間 伸悟 高松 孝綱

担当理事：日高 陽子

## 2. 活動目的

- 昨年の会員アンケートを参考に会場型研修、オンライン研修の企画
- 施設の介護支援専門員同士の情報交換会を開催する
- 新規会員獲得に向けた活動。非会員を対象にした研修企画

## 3. 活動内容

### <会議>

- 令和7年4月7日 ZOOM会議  
新年度の挨拶・,年間の活動内容について  
7月研修会へ向けて打ち合わせ
- 令和7年5月22日 ZOOM会議  
7月研修企画(日程・講師・役割)  
講師参加。当日の打ち合わせ、研修内容の確認
- 令和7年7月23日 ZOOM会議  
7月研修会の振り返り  
次回、研修会に向けての打ち合わせ
- 令和7年10月20日 ZOOM 会議  
11月研修企画(日程・講師・役割)  
講師参加。当日の打ち合わせ、研修内容の確認
- 令和8年2月16日 ZOOM会議  
11月研修会の振り返り  
施設介護支援専門員次年度の企画について

## <研修>

- 令和7年7月14日(月)

宮崎市市民文化ホール（会議室 1.2.3）

【刑余者支援の司法と福祉の架け橋】

～私たちにできることはなにか～

講師 宮崎県地域生活定着支援センター

(参加者人数) 会員 20 名

- 令和7年11月20日(木)

宮崎市清武文化会館（研修室 1,2）

【生産性向上取組、委員会の進め方等について】

講師 ハーモニーライフサポート

代表 増田 登賜隆 様

(参加者人数) 会員 19 名・非会員 1 名

## 4. 総括

本年度は、施設で勤務する介護支援専門員にとって実践に直結する有益な研修となるよう、企画・運営を行った。第1回研修会では、「刑余者支援の司法と福祉の架け橋」と題し、宮崎県地域生活定着センターより講師を招き、刑余者の方を地域でどのように支えていくかについて学んだ。司法と福祉の連携の実際や、地域生活を支えるための具体的な視点について理解を深めるとともに、グループワークを通して参加者同士が意見交換を行い、学びを共有する機会となった。研修後のアンケートでは、関心度・理解度ともに高い評価を得ることができ、充実した研修となった。

第2回研修会では、「生産性向上の取組と委員会の進め方」をテーマに、ハーモニーライフサポートの増田登賜隆様を講師に、講義いただいた。生産性の向上を通じた働きやすい職場環境づくりは喫緊の課題であり、取組のきっかけづくりや継続のポイントについて、具体的かつ分かりやすくご教示いただいた。

次年度も、本年度の成果と課題を踏まえ、施設ケアマネジャーの実践力向上に資する研修会の企画・運営を行っていく。また、より多くの介護支援専門員の皆様にご参加いただけるよう、開催日時や内容について創意工夫を重ね、参加しやすい環境づくりに努める。

# 相談・サポート委員会 令和7年度事業報告

## 1. 委員構成

委員長：大山 哲弘

委員：荒木 智治 坂井 省悟 今西 有里

担当理事：投山 誠志郎

## 2. 重点目標

- ケアマネジャー同士の交流が促進できる機会を作る。
- 高齢者虐待防止、医療と介護の連携強化のための研修を開催する。
- 宮崎市の介護支援専門員が抱える悩みや課題などに関する介護保険課との意見交換会。

## 3. 活動内容

### <会議>

第1回 令和7年 5月29日 : JCHO 宮崎江南病院附属居宅介護支援センター

第2回 令和7年 7月 2日 : JCHO 宮崎江南病院附属居宅介護支援センター

第3回 令和7年 11月 6日 : JCHO 宮崎江南病院附属居宅介護支援センター

第4回 令和8年 2月12日 : JCHO 宮崎江南病院附属居宅介護支援センター

\* 随時、LINE・Mail・電話等にて情報交換（共有）を実施

### <イベント・研修>

1、 ケアマネジャー同士の交流やつながりが持てるイベントの開催。

(令和7年 9月26日 参加者 17名)

2、 相談サポート高齢者虐待防止研修

第2回高齢者虐待防止を介護支援専門員の立場考える

(令和7年 11月12日 参加者 49名)

## 4. 総括

今回のケアマネ交流会と高齢者虐待防止研修を通じて、地域の専門職が互いに学び合い、つながりを広げる場としての価値が改めて確認された。交流会では初参加者や多職種の参加が増え、活発な意見交換が行われたことから、固定化を避けた開かれたネットワークづくりが進んでいる。一方で、参加人数の変動に対応できる会場確保が課題として浮上し、今後は柔軟な運営体制が求められる。

高齢者虐待防止研修では、法定研修としてのニーズの高さが明確で、現場に即した内容が評価された。質疑応答の時間不足や行政との連携フローの不透明さなど改善点も示されたが、参加者の学びを深めたいという意欲が強く、継続開催の意義は大きい。今後は講義に加え、意見交換や事例共有を取り入れた双方向型の構成を検討することで、より実践的な研修へと発展が期待される。

# スキルアップ・研修委員会 令和7年度事業報告

## 1. 委員構成

委員長 : 畠中 貴憲  
委員 : 猿渡 佐代子 立山 裕也  
担当理事 : 黒木 宣彦 中島 晋太郎

## 2. 活動目的

テーマ「地域共生社会の中で頼られる介護支援専門員になる為、研修で輪を広げよう！」  
多様性が求められる社会で、一人の介護支援専門員では対応が困難なケースが増加している。研修の機会を通して、会員皆様の自己研鑽の一助となること又、顔の見える関係性が構築できる開催を目標に活動した。

## 3. 活動内容

<研修>

令和7年6月19日(木)

テーマ「認知症を狙った詐欺について」

講師 宮崎県弁護士会 大山法律事務所 大山 和伸 氏

宮崎県警察本部 生活安全部 生活安全少年課

特殊詐欺抑止対策主任 川並 亜衣美 氏

宮崎県消費生活センター 堂園 敬子 氏

令和7年8月22日(金)

テーマ「地域づくりと利用者の望む在宅生活に向けたケアマネジメント」

講師 宮崎大学医学部 地域包括ケア学講座 特別教授 桐ヶ谷 大淳 氏

令和7年10月3日(金)

<宮崎県障がい相談支援事業連絡協議会との合同研修会>

テーマ「介護・障がい福祉とのマリアージュⅦ

～ヤングケアラーを救え、介護と障がいを抱える家族にできること～

講師 宮崎市子ども家庭支援課 齋藤 京子氏

宮崎市教育委員会 学校教育課

スクールソーシャルワーカー 川越 葉子 氏 児玉 志乃 氏

宮崎県子ども・若者総合相談センターわかば

ヤングケアラーコーディネーター 有嶋 誠 氏

令和7年12月25日（木）

テーマ「ケアマネジメントの効率化を考えよう」

講師 Jacky Web Works 代表 持原 孝介 氏

令和8年 2月20日（金）

テーマ 「法令順守！ 法令を味方につけてシャドーワークを軽減！」

～法令と倫理の両側面から、整理してみよう！～

講 師 一般社団法人あたご研究所 代表 後藤 佳苗 氏

#### <会議>

|             |  |
|-------------|--|
| 6月<br>研修準備  | 5/9・・・・・・・・スキルアップ委員会/城ヶ崎小戸の家 相談室<br>・新理事就任あいさつ、年間の計画と役割分担の確認、6月定例会について   |
| 8月<br>研修準備  | 7/3・・・・・・・・スキルアップ委員会/城ヶ崎小戸の家 相談室<br>・6月定例会振り返り、8月定例会について   |
| 10月<br>研修準備 | 5/21 6/23 7/23 8/19 9/24 MSR 合同研修会会議 「市民活動センター」<br>6/5 子ども家庭支援課 講師打合せ「市役所」<br>6/23 学校教育課 講師打合せ 「清武支所」<br>9/11・・・・・・・・スキルアップ研修委員会「城ヶ崎小戸の家」<br>・8月定例会振り返り、10月定例会について |
| 12月<br>研修準備 | 11/25・・・・・・・・スキルアップ委員会/城ヶ崎小戸の家 相談室<br>・10月定例会振り返り、12月定例会について、講師と打合せ  |
| 研修<br>打合せ   | 2/4 講師と打合せ 宮崎県介護支援専門員協会 宮崎東諸県ブロックネットワークが実施   |
| 総括          | 3/18・・・・・・・・スキルアップ委員会/小戸の家<br>・1年の振り返り 本年度報告書と来年度計画書の確認 ・次年度の活動意向確認  |

#### 4. 総括

今年度の研修は、計画に準じた通り、定例研修会として年間5回開催した。

会議は全13回（スキルアップ研修委員会5回、研修打合せ8回）開催した。

活動目的の「地域共生社会の中で頼られる介護支援専門員になる為、研修で輪を広げよう！」の下、グループワークを取り入れた参加型研修を実施した。意欲的な意見交換が効率的に行われ、顔の見える関係づくりが促進されたと考える。

また、多様な職能団体や地域包括ケア推進課・宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会・東諸県ケアマネジャー連絡会との合同研修会を通じて、昨年同様に各団体との連携を強化することができた。さらに、事前・事後アンケートを活用し会員の皆様の意見も取り入れた研修会を実施できた。

#### 【議案第2号】

## 令和7年度 収支決算

### ■収入の部

(単位：円)

| 科 目    | 予算額       | 決算額       | 増減       | 摘 要  |
|--------|-----------|-----------|----------|--|
| 会費     | 1,060,000 | 1,026,000 | ▲ 34,000 | 交付金内訳：会員 510名(×2,000)<br>準会員3名×2,000円=6,000円 |
| 雑収入    | 0         | 679       | 679      | 預金利息   |
| 前年度繰越金 | 0         | 0         | 0        |  |
| 収入合計   | 1,060,000 | 1,026,679 | ▲ 33,321 |  |

### ■支出の部


| 科 目     | 予算額       | 決算額       | 増減       | 摘 要                                 |
|---------|-----------|-----------|----------|-------------------------------------|
| 事業費 総合計 | 700,000   | 647,900   | ▲ 52,100 |                                     |
| 研修費     | 320,000   | 254,410   | ▲ 65,590 | 研修会講師謝礼等                            |
| 役員会費    | 155,000   | 146,000   | ▲ 9,000  | 役員会活動費 役員報酬                         |
| 委員会費    | 180,000   | 209,000   | 29,000   | 委員会活動費 委員報酬                         |
| 事務局費    | 40,000    | 32,000    | ▲ 8,000  | 事務局報酬、委託費                           |
| 雑費      | 5,000     | 6,490     | 1,490    | 振込手数料                               |
| 事務費     | 360,000   | 392,098   | 32,098   |                                     |
| 通信運搬費   | 20,000    | 35,900    | 15,900   | zoom・Wi-Fi使用料等                      |
| 印刷製本費   | 60,000    | 107,250   | 47,250   | 研修・総会資料印刷                           |
| 会場費     | 90,000    | 59,355    | ▲ 30,645 | 令和8年度定例会会場予約<br>令和7年度研修会場使用料、会議室使用料 |
| 事務委託費   | 185,000   | 185,900   | 900      | Webサイト更新、HP管理                       |
| 消耗品費    | 4,000     | 3,693     | ▲ 307    | 事務用品 コピー用紙                          |
| 雑費      | 1,000     | 0         | ▲ 1,000  |                                     |
| 予備費     | 0         | 0         | 0        |                                     |
| 支出合計    | 1,060,000 | 1,039,998 | ▲ 20,002 |                                     |


|      |           |           |           |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 収入合計 | 1,026,679 | 特別会計      |           |
| 支出合計 | 1,039,998 | R7年度残高    | 1,223,559 |
| 残高   | -13,319   | 施設ケアマネ研修費 | 4,000     |
|      |           | 利息        | 1,983     |
|      |           | 計         | 1,229,542 |
|      |           | 一般会計へ不足分  | 13,319    |
|      |           | 特別会計残高    | 1,216,223 |

## 監査報告書

令和7年度の宮崎市介護支援専門員連絡協議会の会計帳簿、領収書、  
預金通帳等の関係書類を閲覧照合しましたところ、帳簿類は適切に処理  
されており、収支決算書も正確である事を認めます。

令和8年4月5日

監事 牛谷 義秀 

監事 柳元 剛志 

## 【報告第1号】

# 令和8年度 事業計画

### 〈基本方針〉

当協議会は、宮崎市の介護支援専門員が一社会人としての品格を持つとともに、専門職者としてのスキル向上に継続的に取り組み、宮崎市民の医療・保健・福祉の増進に貢献をしていくことを目指します。

そのために、各種委員会活動の充実を図り、会員の多様な働き方に対応できるよう柔軟な事業展開を図るとともに、タイムリーな研修内容の検討や、他団体との連携強化を図っていきます。

国・県・市の三層構造については、より強固な団体となるために、今後も日本介護支援専門員協会、宮崎県介護支援専門員協会との連携強化を図り、介護支援専門員の社会的地位の向上にも尽力していきます。

また、災害や感染症等のリスクへの対応や、ICT活用の推進、介護支援専門員の人材確保等にも取り組めます。

### 1. 重点目標

介護支援専門員としてのスキルアップ及び社会的地位の向上を目指し、介護支援専門員の多様な活躍を支援していきます。

また、利用者支援が円滑に遂行できるよう、保険者等の行政機関と協働し政策提言をしていきます。

### 2. 重点課題

- (1) 介護支援専門員間及び関係機関、行政等との円滑な連携
- (2) 介護支援専門員の業務支援（ケアプラン作成研修）
- (3) 感染症管理を含めた利用者と介護支援専門員の衛生管理
- (4) 介護支援専門員の働き方支援（ICTの実践活用）
- (5) 緊急時や災害時に発揮できる対応力の習得
- (6) 介護支援専門員の人材確保（魅力発信、潜在介護支援専門員の発掘）
- (7) 協議会体制の維持
  - ① 会員加入の促進および離職の理由分析
  - ② 各種委員会活動の充実
  - ③ ホームページ活用による情報公開と遠隔講義の受講

### 3. 具体的事業

具体的な事業については、今後、各種委員会で検討していきますが、定例会は原則以下の日程で開催する予定です。（時間は14時00分～16時00分）

また、各種職能団体との合同研修会を開催する予定です。開催時期や場所等については、他団体と調整し決まり次第お知らせします。

\*主任介護支援専門員の更新要件を満たす研修は研修内容・時間配分を規定に添って企画・運営してまいります。

< 定例会（予定） >

|        | 開催日       | 場所               | 備考 |
|--------|-----------|------------------|----|
| 4月総会   | 4月23日（木）  | 宮崎市民プラザ ギャラリー①   |    |
| 6月定例会  | 6月19日（金）  | 宮崎市民プラザ ギャラリー    |    |
| 8月定例会  | 未定        | オンライン開催          |    |
| 10月定例会 | 10月23日（金） | 清武町文化会館 小ホール     |    |
| 12月定例会 | 12月18日（金） | 清武町文化会館 小ホール     |    |
| 2月定例会  | 2月18日（木）  | 宮崎市民文化ホールイベントホール |    |

#### 4. 委員会活動

各委員会の活動計画は次のとおりとする。

# 広報・渉外委員会 令和8年度事業計画

## 1. 委員構成

- 委員長：岩切 周也  
委員：池松 正司 宮田 美香  
担当理事：村山 圭太

## 2. 活動目標

- 行政との意見交換を継続し、会員の声を適切に届ける体制を維持する。
- 協会としての情報発信力を高め、会員に必要な情報を分かりやすく届ける。
- 新規会員のフォローアップと既存会員の定着につながる取り組みを進める。

## 3. 活動内容

- ① 委員会運営
  - ・ 年度内に必要に応じて委員会を開催（年2回程度を目安）。
  - ・ メール等も活用し、効率的に委員同士の情報共有・意見交換を行う。
- ② 行政との意見交換
  - ・ 地域包括ケア推進課等との意見交換を継続し、会員の課題や現場の声を行政へ届ける機会を確保する。
  - ・ 顔の見える関係づくりをさらに進め、協働しやすい環境を整える。
- ③ 情報発信
  - ・ 研修案内や行政情報など、会員に必要な情報を優先してHPに掲載する。
  - ・ 広報誌「みやざき市ケアマネ協だより」は年2回を目安に発行する。
- ④ 会員支援（新規会員・退会防止）
  - ・ 他委員会等と連携し、入会案内および会員へのフォローアップを継続して実施する。
  - ・ 会員が協会活動に参加しやすい環境づくりに努め、実施可能な取り組みから段階的に推進する。
- ⑤ アンケート調査の実施  
協会としての課題把握と活動改善につなげるため、アンケートを実施する。

# 施設支援研修委員会 令和8年度事業計画

## 1. 委員構成

委員長：津貫 大悟

委員：富高 美由紀 串間 伸悟 高松 孝綱

担当理事：日高 陽子

## 2. 重点目標

- 施設の介護支援専門員が求めている研修企画。
- 介護支援専門員同士の交流会・情報交換会の開催。
- 新規会員獲得にむけた活動。非会員にむけて研修会の発信。
- 研修内容により、介護職員の参加も促し、介護支援専門員資格取得に結びつける。

## 3. 活動内容

### <研修会の開催>

(回数) 年2回(研修企画未定。委員会で決定)

(内容) アンケート実施。会員・非会員の介護支援専門員が求めている企画

(対象者) 宮崎市介護支援専門員連絡協議会会員及び非会員

### <交流会の開催>

(回数) 年2回(未定)

(内容) 施設の介護支援専門員同士が交流できるよう、意見交換を行う等、顔の見える関係を作る場を提供する。

(対象者) 宮崎市介護支援専門員連絡協議会会員及び非会員

### <新規会員獲得にむけた活動>

- ・非会員の事業所へ研修企画を発信。
- ・研修開催の場で、非会員に対して入会案内等を配布する。
- ・懇親会など参加の声かけ。

# 相談・サポート委員会 令和8年度事業計画

## 1. 委員構成

委員長：大山 哲弘

委員：荒木 智治 坂井 省悟 今西 有里

担当理事：投山 誠志郎

## 2. 重点目標

- ケアマネジャー同士の交流が促進できる機会を作る。
- 高齢者虐待防止研修を継続し実践かつ対応技術を高める。
- ICT・AI 活用の推進
- 宮崎市の介護支援専門員が抱える悩みや課題などに関する介護保険課との意見交換会。

## 3. 活動内容

- 1、ケアマネジャー同士の交流やつながりが持てるイベントの開催。
  - ・ 顔の見える繋がり（語り合いの場）の企画と実施し情報交換やネットワーク作り。
- 2、高齢者虐待防止に関する研修会の開催
  - ・ 高齢者虐待防止に関する介護支援専門員の立場から考える倫理と実践の研修の実施。
- 3、ICT・AI 活用の推進研修会の開催
  - ・ 事業所間の活用格差を縮小し、業務効率化を支援
  - ・ 文字起こし・AI 要約など、現場で使える実践的な ICT 活用を普及
  - ・ 個人情報管理・セキュリティへの不安を解消するための学習機会を整備
- 4、宮崎市介護保険課や他の職能団体と年に数回程度、意見交換の場を設ける。
- 5、定期的な相談サポート体制  
会員の皆様が必要としている情報や共有を図れる日々のサポートを行う。

# スキルアップ・研修委員会 令和8年度事業計画

## 1. 委員構成

委員長 : 畠中 貴憲  
委員 : 猿渡 佐代子 立山 裕也  
担当理事 : 黒木 宣彦 中島 晋太郎

## 2. 重点目標

テーマ: 「インフォーマルな社会資源を活かし、多職種と地域の懸け橋になろう！」

現状の課題

: 2026年となり、働き手不足が深刻化し、専門職やご家庭の介護負担が増大している。加えて、8050問題や老々介護など、より個別性の高い支援が求められる時代である。

目指すべき方向

- 介護支援専門員は フォーマルサービスの枠を超えた連携が不可欠である。
- 地域の力を活用し、より多職種とつながることが重要である。
- 相談窓口を知り、連携を深める機会を提供する研修を企画が必要と考え下記の研修を企画していく。

【令和8年度 研修計画 案】

- 6月: インフォーマルな社会資源を活用しよう  
九州医療科学大学 社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科  
教授 川崎 順子 氏  
宮崎市 福祉総務課 生活支援コーディネーター
- 8月: 医療介護連携、口腔や咽頭に疾患を持つ利用者に対するリハビリテーション  
都農町国民健康保険病院 Dr 桐ヶ谷大淳 氏 ST 横山茂幹 氏
- 10月: 障がい福祉とのマリアージュⅧ～重層的支援体制整備事業について～  
※宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会との合同研修会
- 12月: (内容はお楽しみに！)
- 2月: 法的根拠を押さえたケアマネジメント (内容はお楽しみに！)  
※ 東諸県ケアマネジャー連絡会との合同研修会

以上の研修を目標に活動を実施予定としている。

### 3. 活動内容

- 奇数月：委員会（年5回）、定例会研修会の役割分担、前回研修の振り返り
  - 偶数月：研修会（年5回）、準備・講師紹介・謝辞・片付け
- ☆ 研修当日は役員と委員で運営致します。

※研修会計5回についての詳細は定例会 1 か月前に事務局よりメール等で案内予定。

## 【報告第2号】

## 令和8年度 収支予算（案）

## ■収入の部

(単位：円)

| 科 目  | 本年度予算<br>(令和8年度) | 前年度予算<br>(令和7年度) | 増減       | 摘 要          |
|------|------------------|------------------|----------|--------------|
| 会費   | 1,020,000        | 1,060,000        | ▲ 40,000 | 会員510名×2000円 |
| 雑収入  | 0                | 0                | 0        |              |
| 収入合計 | 1,020,000        | 1,060,000        | ▲ 40,000 |              |

## ■支出の部

| 科 目   | 本年度<br>(令和8年度) | 前年度<br>(令和7年度) | 増減       | 摘 要                        |
|-------|----------------|----------------|----------|----------------------------|
| 事業費   | 680,000        | 700,000        | ▲ 20,000 |                            |
| 研修費   | 300,000        | 320,000        | ▲ 20,000 | 研修会講師謝礼等                   |
| 役員会費  | 155,000        | 155,000        | 0        | 役員会活動費 役員報酬                |
| 委員会費  | 180,000        | 180,000        | 0        | 委員会活動費 委員報酬                |
| 事務局費  | 40,000         | 40,000         | 0        | 事務局報酬                      |
| 雑費    | 5,000          | 5,000          | 0        | 振込手数料他                     |
| 事務費   | 340,000        | 360,000        | ▲ 20,000 |                            |
| 通信運搬費 | 20,000         | 20,000         | 0        | Zoom、wifi使用料等              |
| 印刷製本費 | 60,000         | 60,000         | 0        | 研修・総会資料                    |
| 会場費   | 70,000         | 90,000         | ▲ 20,000 | R9年度分定例会会場予約分<br>R8年度会場使用料 |
| 事務委託費 | 185,000        | 185,000        | 0        | web管理, 更新委託料               |
| 消耗品費  | 4,000          | 4,000          | 0        | 事務用品                       |
| 雑費    | 1,000          | 1,000          | 0        | コピー用紙、封筒他                  |
| 予備費   | 0              | 0              | 0        |                            |
| 支出合計  | 1,020,000      | 1,060,000      | ▲ 40,000 |                            |

【報告第3号】

事務局体制について

令和8年度事務局を下記の事業所内に置く。

<令和8年度事務局事業所>

社会福祉法人 芳生会

芳生苑在宅介護支援センター

住 所 : 〒 880-0045

宮崎市大字大瀬町 3190

電 話 : 0985-41-0307 F A X : 0985-36-0177

# 宮崎市介護支援専門員連絡協議会会則

(名 称)

第1条 本会は、宮崎市介護支援専門員連絡協議会とする。

(目 的)

第2条 本会は、介護支援専門員としての役割を十分認識し、利用者へのより良いサービスを提供するために、研修及び情報交換等を通じ、会員相互の連携と資質の向上を図ることを目的とする。

(活動内容)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 介護保険やその他の福祉サービス等に関する情報の収集
- (2) 資質向上のための事例検討や研修
- (3) 会員間の連携を深めるための情報交換
- (4) 本会の活動を周知するための広報活動
- (5) 関係機関との連絡調整
- (6) 介護保険制度上の様々な問題への取り組み
- (7) その他、必要と認められる活動

(会員及び会費)

第4条 本会の会員は、宮崎市内の介護支援専門員等で、一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会（以下「県協会」という。）及び一般社団法人日本介護支援専門員協会（以下「日本協会」という。）の会員とする。

ただし、県協会の準会員である本会の会員は、日本協会への入会は任意とする。

- 2 県協会の準会員である本会の会員は、県協会とは別途にその年度の会費を本会に納入した者とし、年会費の額は2,000円とする。
- 3 既納の会費及びその他の拠出金品は返還しないものとする。

(会員の資格喪失)

第5条 会員が、県協会及び日本協会を退会したときは、その資格を喪失する。

(運営費)

第6条 本会の運営費は、県協会からの支部交付金及び県協会の準会員である本会の会員の会費を充てることとする。

(役員)

第7条 本会に次の役員を置く。

(1) 理事

(2) 監事

- 2 役員の数については、会の運営に必要な人数を総会において補充することができる。
- 3 役員の選出にあたっては、医療・保健・福祉のあらゆる分野から総会において選任するものとする。

(会長、副会長の選任及び役割)

第8条 本会の理事の互選により、会長、副会長を選任する。

- 2 会長は、本会を代表し、会を総括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 4 監事は、会長が会員の中から選任し、監事は会の活動を監査し求められた時に助言指導を行うものとする。
- 5 理事は、会の円滑な運営にあたり、議決を行うものとする。
- 6 会計担当理事は、会長が理事の中から選任する。

(理事の選出及び任期)

第9条 理事は、会員の互選とし、総会にて選出する。

- 2 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する総会の終結のときまでとし、再任は妨げないものとする。
- 3 前項の規定にかかわらず会長、副会長の任期は1期2年とし、最長3期までとする。

(顧問)

第10条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、会長その他の役員の求めに応じ、本会の活動及び運営に必要な助言を行う。

(委員会の設置)

第11条 本会は、本会の目的を達成するために必要な委員会を置くことができる。

- 2 委員会委員は、会員の中から選出するものとする。
- 3 委員会委員の任期は1年とし、再任は妨げないものとする。

(役員等の報酬)

第12条 本会は、役員等に対し、次の各号に定める報酬を支給する。

|                              |    |         |
|------------------------------|----|---------|
| (1) 会長                       | 年額 | 10,000円 |
| (2) 副会長・事務局長                 | 年額 | 8,000円  |
| (3) 理事(会長・副会長・事務局長を除く)・監事・顧問 | 年額 | 6,000円  |
| (4) 委員会委員長                   | 年額 | 5,000円  |
| (5) 委員会委員                    | 年額 | 4,000円  |
| (6) 事務局員主務                   | 年額 | 4,000円  |
| (7) 事務局員                     | 年額 | 2,000円  |

(総会)

第13条 総会は、会長が招集し開催する。

2 総会は、会員の過半数をもって成立し、議事は出席者の過半数の賛同をもって決定する。

3 総会は、次の事項を決議する。

- (1) 役員を選任
- (2) 会則の変更
- (3) 各事業年度の事業報告及び決算の承認
- (4) その他必要な事項

(役員会)

第14条 会長が必要と認めた時に、役員会を開くことができる。

2 本会の運営に必要な事項が生じた場合、役員会で協議するものとする。

3 役員会は、次の事項を決議する。

- (1) 各事業年度の事業計画及び予算
- (2) 事務局の選任

(事務局)

第15条 本会の事務局は、役員会において選任された会員事業所内に置き、事務局長は、会長が理事の中から選任する。

(事業年度)

第16条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(その他)

第17条 この会則に定めのない事項及びこの会則に必要な規程は、役員会が定める。

## 付 則

- この会則は、平成13年 9月20日から施行する。
- この会則は、平成17年 4月15日から施行する。
- この会則は、平成19年 4月20日から施行する。
- この会則は、平成21年 4月17日から施行する。
- この会則は、平成22年 4月16日から施行する。
- この会則は、平成23年 4月 1日から施行する。
- この会則は、平成24年 4月 1日から施行する。
- この会則は、平成25年 4月 1日から施行する。
- この会則は、平成26年 4月 1日から施行する。
- この会則は、平成27年 4月17日から施行する。
- この会則は、平成29年 4月14日から施行する。